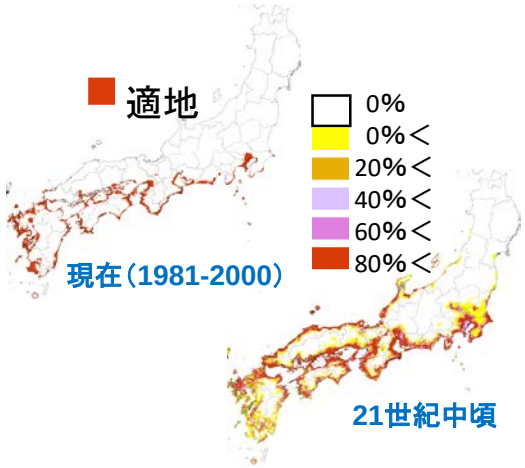
【成果概要】0-5 気候変動が果樹生産適地に及ぼす影響に係る影響評価の概要

調査結果の概要

■ 平成30年度の成果

- 果樹栽培の意思決定に必要となる果樹生産適地に関する将来情報を推計した。
  - ✓ 12シナリオ（6GCM×2RCP×1期間）による21世紀半ばの適地確率予想マップ（ウンシュウミカン、タンカン、リンゴ）
  - ✓ 長野県リンゴ適地について、空間的な精緻化（250mメッシュ化）した現在の適地のマップ（MIROC5、RCP8.5、新座標系）
- 極温推定の精緻化手法について、通常の平均値に関するバイアス補正に加えて、極温に関するバイアス補正する手法を考案した。



ウンシュウミカンの栽培が可能な確率の評価
（6GCM：CSIRO-Mk3-6-0、GFDL-CM3、HadGEM2-ES、IPSL-CM5A-LR、MIROC5、MRI-CGCM3、2RCP：RCP2.6、RCP8.5）
出典：農研機構 果樹茶業研究部門資料

■ 平成31年度の調査計画（案）

- 極温推定を精緻化した21世紀末の適地確率予想マップの作成
- 長野県リンゴ適地について、将来の適地のマップを空間的な精緻化

	調査項目	平成31年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	気候変動影響予測を行うための基礎データの拡張分を収集整備	→	→	→	→	→							
2	極温推定を精緻化したウンシュウミカン、タンカン、リンゴについて、将来（21世紀末頃）生産が可能な確率の評価、適地マップの作成			→	→	→	→	→	→	→	→		
3	影響評価の空間的な精緻化								→	→	→	→	
4	成果のとりまとめ											→	→